



三越伊勢丹ホールディングス

2019年1月3日

各位

株式会社三越伊勢丹ホールディングス

株式会社三越伊勢丹ホールディングス 代表取締役社長執行役員 杉江俊彦 年頭所感

三越伊勢丹グループは昨年、統合 10 周年を迎え、三越伊勢丹グループの存在意義であり、めざす姿である「私たちの考え方」を新たに掲げ、次の 10 年の成長に向けて、“人と時代をつなぐ”改革に着手いたしました。

当社の強みである「人」と「デジタル」を融合し、お客さまに新しい価値をご提供するために、定期宅配サービス等、デジタルを活用した新たなサービスを開始したほか、基幹店である三越日本橋本店や伊勢丹新宿本店のリモデル、再活性化を進めております。

迎えた 2019 年は、平成から新元号へ変わり、デジタルファーストの本格到来や、2020 年を見据えたグローバル化の加速等により、一層の“変化”が求められる新たな時代のスタートとなります。

このような状況の中で、三越伊勢丹グループは、IT・店舗・人の力を活用した新時代の百貨店をめざし、グループの強みを活かし、デジタル技術を活用した世界中のモノ・コトとお客さまをマッチングするつなぎ手となることをめざしてまいります。

そのための 3 つの成長戦略として、①お客さまに最高の顧客体験を提供するためのオンライン（E C）とオフライン（店舗）のシームレス化による「百貨店ビジネスモデルの革新」 ②デジタルを活用した新しい購買体験を提供するための「オンラインの新たなビジネスモデルの構築」 ③国内外の保有不動産の複合開発を通じた街づくりに貢献する「不動産事業の拡大」 - を掲げ、これらをスピードをもって進めていくとともに、成長戦略の実現に向けた収益基盤を確立すべく、抜本的なコスト構造の改革に引き続き取り組んでまいります。

また、コーポレート・ガバナンス体制を一層強化し、企業活動を通じて変化する社会からの課題や要請にお応えするための取り組みを推進していくことで、お客さまをはじめとするステークホルダーの皆さまの豊かな未来と、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以上

〔報道関係の皆さまからのお問い合わせ先〕

株式会社三越伊勢丹ホールディングス 総務部 広報・株式ディビジョン

電話 (03) 6205-6003